

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
 2015年度 共同研究成果報告書〔研究費配分型〕

2016年4月22日 提出

1. 研究課題名	
京都盆地を対象にした文化資源デジタル・コンテンツの利活用と流通を促進するプラットフォーム構築 (英文標記: Promoting utilization and circulation of Japanese cultural digital resources based on Virtual Kyoto)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
奥窪宏太(おくくぼ こうた)	凸版印刷株式会社 文化事業推進本部
3. 研究分担者 (合計: 名) ※アート・リサーチセンター所属者は、「ARC 所属教員欄」に○印を付してください	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
矢野桂司(やの けいじ)	立命館大学文学部教授
川嶋將生(かわしま まさお)	立命館大学名誉教授
塚本章宏(つかもと あきひろ)	徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部准教授
河角龍典(かわすみたつのり)	立命館大学文学部教授
河原大(かわはら だい)	(株)キヤドセンター
矢口浩平(やぐち こうへい)	ESRI ジャパン(株)
福島幸宏(ふくしま ゆきひろ)	京都府立総合資料館
西山剛(にしやま つよし)	京都府京都文化博物館
佐伯敬太(さえき けいた)	凸版印刷株式会社文化事業推進本部 文化事業推進部 部長
加茂竜一(かも りゅういち)	凸版印刷株式会社文化事業推進本部 部長
中島基道(なかじまもとみち)	凸版印刷株式会社 文化事業推進本部 文化事業推進部 係長

4. 研究課題の概要(300字程度)(申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください)

本研究では、これまで様々な機関において作製されてきた京都の有形無形の文化資源デジタルコンテンツを集積させ、それらを流通・活用させるためのプラットフォームを構築することを目的としている。

このプラットフォームを通して、様々な文化観賞シーンにおけるユーザ体験を向上させることはもちろん、それによって文化資源のデジタルコンテンツの蓄積がさらに促進されるという、文化資源の宝庫である京都ならではのデジタル・アーカイブ・スパイラル(循環)を創出し、さらにそれらを相互に利用することによって、それらを素材とした新たなデジタルコンテンツの構築を促進させる。

また、そうした文化資源デジタルコンテンツの流通や活用に関する著作権などについても検討する。

5. 研究成果の概要(この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

4.の構想実現に向けて、これまで個々の目的によって蓄積されてきた既存の文化資源デジタルコンテンツが共通の基盤上で継続的に蓄積されていくこと、ユーザ体験としてコンテンツ品質の高いこと、また、活用に重点を置いたデジタルコンテンツを共有する仕組みや、その利用に関するコンテンツ・フォルダーやデジタルコンテンツ作製者との権利交渉等、実例を踏まえながら検討していく必要があった。

そこで、本年度は「洛中洛外図屏風」を題材にし、構想に対するモデルケース<「洛中洛外図」WEBプラットフォーム>の構築に着手した。具体的には、国内外に約180種現存すると言われるこの屏風のデジタルデータ、及びそのメタデータを蓄積し、ユーザビリティの高いWEBプラットフォーム上で共有できるようにするため、「洛中洛外図屏風ポータルサイト」「洛中洛外図屏風の閲覧システム」「洛中洛外図屏風の比較閲覧システム」を試作した。

同屏風は2013年に東京国立博物館で開催された「京都一洛中洛外図と障壁画」や2015年京都文化博物館での「京(みやこ)を描く」の主題となり、鑑賞対象としても研究テーマとしても認知の高まりつつあるのと共に、まさに京都盆地をその被写体とした美術品でもあると共に、地理情報を包有した歴史的資料とも言える。

6. 研究業績

(1) 著書

(2) 論文

奥窪宏太・山路正憲・今村聡・矢野桂司・西山剛・川嶋將生「洛中洛外図屏風のWEB閲覧システムの構築」

『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集(情報処理学会シンポジウムシリーズ)』情報処理学会・人文科学
とコンピュータ研究会, vol.2015 no.22, 2015年12月, pp.37-42)

Keiji Yano, Masanori Yamaji, Satoshi Imamura¹, Masao Kawashima¹, Kota Okukubo and Tsuyoshi Nishiyama (2016): WebGIS-based application for comparing folding screens of Rakuchū rakugai-zu (Scenes in and around Kyoto) with maps. International Cartographic Association, Commission on Cartographic Heritage into the Digital, 11th ICA Conference Digital Approaches to Cartographic Heritage, Conference Proceedings ISSN 2459-3893, pp.358-370. (査読なし)

(3) 研究発表等

「洛中洛外図屏風のWEB閲覧システムの構築」、2015年12月、じんもんこん 2015、同志社大学京田辺校地夢告館、査読有

「京都盆地を対象にした文化資源デジタル・コンテンツの利活用と流通を促進するプラットフォーム構築」、2015年7月、ARC Week 2015 国際シンポジウム、立命館大学アート・リサーチセンター、査読無

Keiji Yano, Masanori Yamaji, Satoshi Imamura¹, Masao Kawashima¹, Kota Okukubo and Tsuyoshi Nishiyama (2016): WebGIS-based application for comparing folding screens of Rakuchū rakugai-zu (Scenes in and around Kyoto) with maps. International Cartographic Association, Commission on Cartographic Heritage into the Digital, 11th ICA Conference Digital Approaches to Cartographic Heritage, 20-22 April 2016, National Library of Latvia, Riga, Latvia (査読なし)

(4) 主催したシンポジウム・研究会等

(5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

(6) 受賞学術賞

(7) 科学研究費助成事業

(8) 競争的資金等(科研費を除く)

(9) その他

- ・ ワークショップ『バーチャル京都』のプラットフォーム活用に関する意見交換、2015年7月、ARC Week 2015、立命館大学アート・リサーチセンター、査読無